

令和 2 年度（2020 年度）

学校評価報告書

令和 3 年（2021 年）6 月

八王子市立看護専門学校

令和2年度（2020年度）学校評価

本校は、看護師として必要な知識・技術・態度を養い、保健医療福祉チームの一員として社会に貢献できる有能な人材の育成を目的としている。

八王子市立看護専門学校学則（以下「学則」という。）第8条に基づき教育の充実を図り、学校の目的・目標を達成するために学校における教育活動の状況と学校運営について、評価項目を9つの大項目に分け、さらに各項目について複数の小項目を設け、昨年度に引き続き専任教員による評価を行った。

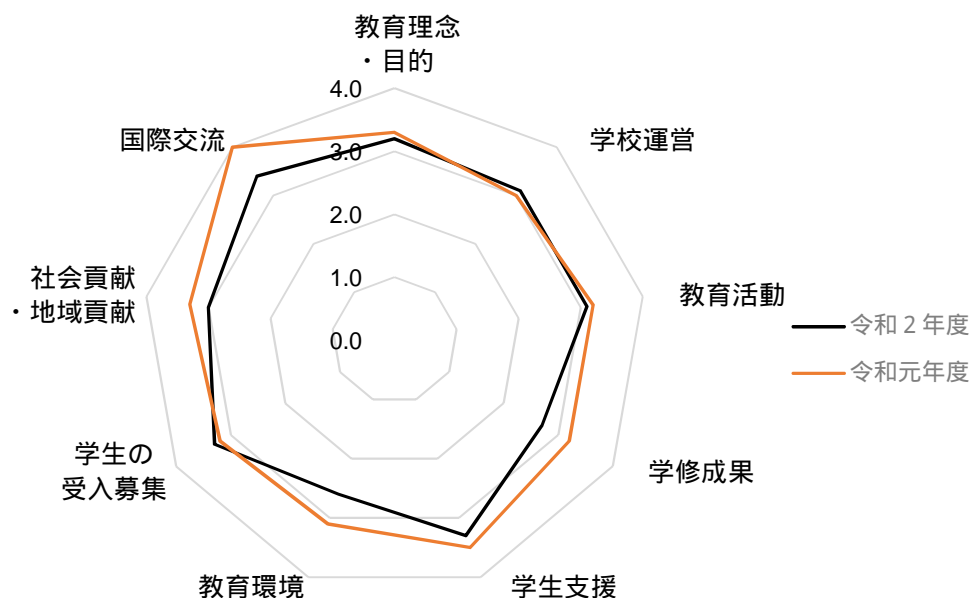
自己評価

評価項目	教育理念・目的	学校運営	教育活動	学修成果	学生支援	教育環境	学生の受入募集	社会貢献・地域貢献	国際交流
令和2年度	3.2	3.1	3.1	2.7	3.3	2.6	3.3	3.0	3.4
令和元年度	3.3	3.0	3.2	3.2	3.5	3.1	3.2	3.3	4.0

評価基準【4：適切 3：ほぼ適切 2：やや不適切 1：不適切】

【参考】学生による評価

評価項目	学生支援	教育環境	学生の受入募集	社会貢献・地域貢献	国際交流
1年生	3.3	3.1	3.5	3.4	3.4
2年生	3.4	2.9	3.5	3.3	3.6
3年生	3.5	3.7	3.7	3.6	3.8
平均	3.4	3.2	3.6	3.4	3.6



教育理念・目的

【自己評価】 評価点 3.2

教育理念・目的・目標（以下「教育理念等」という。）は教育要項に示し、入学希望者への説明会や市ホームページなどで周知している。また、入学時のオリエンテーションにおいて説明するとともに、在校生には日々の講義や実習前など折を見てその内容の共有に努めている。

教育理念等は本校の教育活動の指針となっており、今後、設置者である八王子市の状況を見ながら、社会の変化や医療をとりまく環境の変化を見据え、現在進行中の令和4年から始まる第5次カリキュラム改正に向け、当校の特徴を生かしながら検討する。

令和2年度（2020年度）においては、コロナ感染症拡大防止の観点から、学校説明会や入学式当日の保護者会を中止し、また、国の緊急事態宣言発出により4・5月を休校とした。このため、特に新入生には教育目標等について4月上旬のガイダンスでは説明したものの、日々の講義の中で触れる機会が遅れた。引き続き、機会あるごとに教員、学生への共有化を図る。

【学校関係者評価・意見】

第5次カリキュラム改正にあたり、非常勤講師など外部から意見を求めるとともに、新興感染症が増加し、様々な情報が流布する社会情勢にあって、より新しい知見、根拠ある情報に基づいた理解をすることができる看護学生を育成するための授業構成について検討してほしい。

学校運営

【自己評価】 評価点 3.1

本校は、教育目的である看護師として必要な知識、技術、態度を養い、保健医療福祉チームの一員として社会に貢献できる有能な人材を育成するための運営方針を策定し、運営組織や意思決定機能は、学則等において明確化している。

学校運営に関しては学則に沿って、昨年同様、年4回の運営委員会議や定期的な教員会議を開催し協議している。

昨年同様、教育活動等に関する情報公開については、学校案内及び市ホームページにより行っている。

今後はホームページをより充実させるなど、詳細なカリキュラム内容や教員紹介を含め広く学校の教育内容や運営方針を情報提供していく。

【学校関係者評価・意見】

外部への案内や情報発信と、内部の情報共有にホームページは有効な手段であるため、タイムリーに情報発信可能なホームページの作成を検討してもらいたい。

教育活動

【自己評価】 評価点 3.1

地域に根差し、地域の人々の健康と福祉に貢献できる看護師を育成する教育理念に沿った教育課程の編成・実施方針等を策定している。

教育理念・目的・目標に沿った教育内容の見直しは、令和2年度(2020年度)から開始した学生からの「授業評価」を基に、専任教員・外部講師の意見も踏まえ、行っている。また、国家試験出題基準を確認しながら、医療をとりまく諸問題にも目を向け、年度末には授業内容の改善を図っている。

単位認定や・卒業判定の基準は学則に沿って適切に行っている。また、講義実施に当たり、専門分野領域で活躍されている臨床の認定看護師・専門看護師など優れた講師を招き、実施している。

専任教員については、専門分野に配慮し配置するとともに、それぞれの専門性を生かした教員間の情報共有に努めている。

令和2年度(2020年度)はコロナ禍において、教員の能力開発のための学会・研修会等への参加ができなかったが、個々それぞれが自己のペースで研鑽を積んだ。引き続き、学生へのアンケートによる授業評価を実施するなど、質の向上を図っていく。

【学校関係者評価・意見】

コロナ禍においても、単位認定、卒業認定に関する到達目標を変えずに、臨地実習の代替で、実習に即した学内演習、モデル人形を使用した模擬演習を実施。また、三密を避けるため、地域の会場や東京医大八王子医療センターの会議室を借り、学内でも学生を分散させたビデオ授業を実施するなど、工夫をされている。

学修成果

【自己評価】 評価点 2.7

第110回看護師国家試験結果の全国的な合格率は90.4%であったが、本校は88%と全員合格には至らなかった。

コロナ感染症の影響もあり、市内の病院による就職説明会は実施できなかったが、八王子市の公立学校としての使命を学生に周知しており、令和2年度(2020年度)は八王子市内の医療機関への就職率は80%となっている。また、八王子市外の病院への就職を希望する学生にはその理由を明確にし、副校長・アドバイザーとの相談のもと支援を行っている。

令和2年度(2020年度)の退学者については、進路変更による1名であった。

卒業時に保健師助産師看護師法にある「診療の補助」の強化を図る目的で、看護技術の与薬の技術確認を補講として実施した。

今後は、早い段階からの国家試験対策を実施する。特に模擬試験において成果の出でない学生には、夏休みを利用したり、卒業試験終了後からの補講を実施し、指導強化をすることで合格率100%を目指す。また、卒業生の動向も参考にし、卒業後を見据えた学生指導を行っていく。

【学校関係者評価・意見】

成績不良な学生には早くからサポートを強化し、総合的な学力向上を図り、最終的に国家試験の合格率アップに反映することを期待する。

卒業後のキャリア形成について、卒業生の声に基づき、補講を実施するなど、年度ごとに内容を工夫した支援を実施している。

学生支援

【自己評価】 評価点 3.3

アドバイザー制を採用し、一人の教員が1~3学年18名前後の学生を担当し、教員は学校生活全般の指導や就職・進路相談など、細やかな個別性に合わせた指導を行った。また、成績不良の学生には成績担当、及びアドバイザーの教員により、その学生の学習方法の見直しや今後の対策などを指導するとともに、状況によっては保護者と面談を実施し協力を依頼している。

健康管理体制については、学校保健安全法に基づき全学生への健康診査を年1回実施するとともに、精神的な不安が生じた学生に対しては、学校負担により専門医を紹介している。

修学資金等の経済的な支援については、各種奨学金制度の利用や八王子市独自の修学支援制度利用について、きめ細かく周知するなど相談支援体制を整備している。

今後は、学生指導等に関する方向性を明確にするとともに、さらなる教員間の情報共有を図ることなどによりアドバイザー制をさらに充実させる。また、学生からの意見として、OB、OGとの交流を望む声が挙がっていることから、同窓会との連携による卒業生との交流の場や支援の方法を検討する。

【学校関係者評価・意見】

コロナ感染症の影響による家計の収入減など、経済的な理由で修学を断念することの無いよう、学生には奨学金や修学支援給付金等を活用して、学業に専念してもらいたい。

教育環境

【自己評価】 評価点 2.6

開校から40年以上が経過し施設本体や各種設備も老朽化したことから、令和2年度（2020年度）から3年度（2021年度）にかけて大規模改修工事を実施し施設の延命化を図っている。

年度当初からコロナ感染症による緊急事態宣言発出を受け4月・5月は休校とした。6月からは三密を避けるため、校外の市施設や実習施設の教室を借りて講義を再開することができた。

コロナ感染症拡大防止に向けて、休校になる前からマスクの着用、手洗い、消毒の徹底など指導に努めたこともあり、学生、教員ともに感染者を出すことはなかったが、コロナ禍の状況下で実習受入れ施設が減少し校内実習を余儀なくされる面もあった。このため学内実習の充実を図ることを目的としてシミュレーション教材等を新たに購入することで対応した。

次年度以降もコロナ感染症拡大に対する対応を想定し、学内実習による到達目標達成へ努めるとともに、状況に応じたオンライン授業の実施を検討する。

シミュレーション教材：臨床に近い状況に合わせて模擬的に再現した装置または教材

【学校関係者評価・意見】

オンライン授業の拡充において、通信料等で学生の生活を圧迫することがないことを確認した。オンライン授業は三密のリスク回避の点では画期的な手法だが、対面授業と比べ、どの程度の学習効果があるかは疑問がある。主として対面授業を行い、補完的にオンライン授業を用いるよう提案する。

学生の受入募集

【自己評価】 評価点 3.3

学生募集に関してはコロナ禍の影響で、予定されていた7月の学校説明会は中止とした。一方で、感染対策に配慮しながら個別的な学校説明・見学を随時行い、入学希望者に対する丁寧な対応に心がけた。また、例年以上に高校訪問や高校生への進路相談会への参加も行った。

入学試験に際しては、社会人、一般ともに感染者への配慮から予備日を設け、感染リスクを回避するとともに、体調不良者への対応を考慮し実施した。

少子化傾向とともに看護大学も増設される中、看護専門学校への入学志願者の減少傾向が懸念される。このため公立の学校としての本校の特色をさらに明確にし、社会人の受け入れや費用負担の面など検討を重ね、さらなる地域の医療や社会に貢献する人材の

確保に取り組む。

【学校関係者評価・意見】

コロナ禍において、様々な学校イベントが開催されていないため、外部関係団体の方々が学校の現状を視察していただく機会を設けてもよいのではないかとと思われる。

社会貢献・地域貢献

【自己評価】 評価点 3.0

コロナ感染症の影響もあり、例年実施している市民を対象とした「公開講座」は中止とした。また、八王子市総合防災訓練をはじめ東京医大八王子医療センター、東海大学八王子病院等の防災訓練への学生の参加や高尾山の清掃活動などボランティア活動も中止とした。なお、教育委員会からの依頼による「養護教諭研修」は実施し、参加者からは良い評価を得ている。

コロナ感染症の状況を踏まえたうえで、公立の学校として地域との関わり深めるため、引き続き積極的なボランティア活動等の取組を行っていく。

【学校関係者評価・意見】

新型コロナウイルスワクチン接種に関して、看護学校の学生による受付事務従事などができれば、社会貢献につながるのではないかとと思われる。

国際交流

【自己評価】 評価点 3.4

当校の独自科目でもある「国際文化交流」の授業の一環として、例年八王子市の海外友好交流都市である台湾高雄市を訪問し、現地医療施設の見学や中国語を用いた看護学生との交流を行っている。しかし、令和2年度（2020年度）はコロナ禍において研修旅行は実施できなかった。

その代替えとして、例年通りの中国語の講義以外にも、各自で事前学習として台湾の歴史や文化を調べた後、旅行会社の協賛を得ながらリモート観光・お茶セミナー・台湾料理の試食・台湾からの留学生との交流会などを実施した。学生からの声として講義内容が充実しているとの評価が多く、科目目標は達成できたと考える。

コロナ感染症拡大により令和3年度（2021年度）も海外友好交流都市への研修旅行は中止とするが、教育課程の趣旨を踏まえた科目の内容を検討する。

【学校関係者評価・意見】

「国際文化交流」「芸術と癒し」の両科目は、いろいろな検討要因があり、長年の交流にも成果があったと思うが、あまり実施内容などは限定せず、もっと様々な国や語学、芸術に触れる機会を設けたらよいと思う。

令和2年度（2020年度）学校評価報告書
令和3年（2021年）6月発行

発行 八王子市立看護専門学校
〒193-0944 八王子市館町 1163 番地
電話 042-663-7170 FAX 042-662-9691